



社会福祉法人 玉 柏 会

会報 No. H29-1

発行：社会福祉法人 玉柏会
総務課

〒424-0942

静岡県静岡市清水区入船町11-1

<http://tamagashikai.com/>

E-mail: sisiharaso@po4.across.or.jp

発行日：2017.5.1

『平成28年度を振り返って』

玉柏会理事長 海野和雄

桜の開花と共に新年度がスタートしました。趣味の古代史探訪のついでに、毎年この時季、宇陀の又兵衛桜、吉野山の千本桜、東大寺側の氷室神社の枝垂れ桜など奈良大和路を歩くのが恒例となっています。

さて昨年5月に理事長に就任して早や1年になります。この間ご利用者や保護者の皆様と接し又役職員の皆様の日常活動を通して日々勉強をさせてもらっています。平成28年度の玉柏会の活動を振り返りますといくつかの変化や成果がありました。先ず社会福祉法の大改正への対応ですが、法人運営の透明性や健全性を目指して内部牽制の強化と役員の役割の明確化を図り、定款や規則を変更しました。又社会福祉充実計画の、検討を重ねて参りました。そして7月の相模原津久井やまゆり園の凄惨な事件を踏まえ、ご利用者や職員の命を守る防犯体制を地域の警察や消防署と共に再構築しました。



内部活動では、自立支援活動の充実を目指しスキル向上と知識習得のための職員研修に注力し、延べ100回にのぼる外部研修やセミナーを経験してきました。2月には自閉症スペクトラムセミナーを静岡市等と共同開催しました。又「共生(ともいき)」という法人理念に基づく職員行動基準を作成し、「ご利用者への接し方9項目」と「職員としての姿勢7項目」を全役職員が共有することを確認しました。周知徹底して自立支援の実を上げていきます。

さて、65歳を基準とする介護保険と障害福祉両制度共通サービス創設が平成30年度からスタートを予定されています。玉柏会でもご利用者の高齢化や職員の年齢構成の高度化が予測される中、事業活動の充実や拡大のための中期計画を腰を据えて検討していく所存です。

役職員の英知を結集して玉柏会プランを作成し、継続的な自立支援活動や地域福祉活動を展開していきたいと思います。又これらを通じて昨今の多様性を否定しがちな風潮に一石を投じ続けていきます。

～ 目 次 ～

・理事長より新年度の挨拶	P1
・平成29年度 玉柏会事業計画（法人、穴原荘、みすず、かしわ寮、かりん、すずらん）	P2～3
・各委員会 活動方針	P4
・法人報告	P4
・職員研修報告	P5
・平成29年度 行事予定	P6

玉柏会事業計画



H28年 納涼祭 手筒花火
大迫力で大歓声が起きました。とってもキレイです！

「法人」事業への想いと取組み

常務理事

濱崎 宣雄

4月より新年度がスタート致しました。玉柏会も新職員が入職し、新たな気持ちで新年度を迎えました。

昨年の法改正や環境の変化により、社会福祉法人もひとつの節目を迎え、社会福祉法人として果たすべき役割と責任の重さは増えています。私たちは今一度、社会福祉法人が存在している理由と果たすべき役割を確認し、法人として、また支援員としての基本や原点を各人が見つめ直していかなければならないと思います。

その原点というのは、ご利用者を第一に考えるということであり、「ご利用者の意思や希望を尊重した、楽しく、安全で安心な生活」を作りあげ、そしてその先にある、玉柏会が法人の理念としている「障害を持つ方々の自立と幸せ」を追求していくことです。

そのためには、ご利用者と接する職員一人一人が、マインドを持ち、さらに自身の資質を向上させることに取り組んでまいりたいと思います。

また、ご利用者が「安全で安心な生活」ができるよう、従来より進めている防犯対策の徹底の他、施設内外のリスクの洗い出しとそれへの対策に注力していきます。

これらによって、ご利用者に、今まで以上のたくさんの笑顔が見られるよう職員一同努めてまいりますので、本年も皆様にはご協力、ご指導を賜りたくお願い申し上げます。

「宍原荘」事業への想いと取組み

支援課長

齋藤 雅志

平成29年度「宍原荘」の事業としては、①支援の専門性の向上、②委員会活動の飛躍、③職場ルールの遵守、④5Sと環境整備の4つを目標としました。

①では、虐待防止の観点からも知的障害における支援というだけでなく、自閉症スペクトラムを持つ方の支援や、高齢介護者への支援についても専門性を高めていけるよう、取り組んでいきます。特にご本人の意思や希望、またライフステージに合った経験をできるよう配慮していきたいです。②では、今まで以上に職員の参画を進めて、いろんなアイデアを職員から出してもらい、活性化を目指します。③では、昨年作成した職員行動基準を、職員は常に携帯しており、今年は皆でそれを遵守していきます。④では、綺麗にするといった掃除だけでなく、より支援がしやすい環境になるよう整備していきます。

ご利用者の皆様が楽しみにされている納涼大会やクリスマス会、創立記念式といった行事や外出活動、意思決定支援の一環として、ご利用者がわかりやすく、楽しめる内容を考えていきますので是非、ご意見をお待ちしております。



やったー!! プレゼント♪



家族旅行

(東京・隅田川)

♪泊旅行♪ピース!!



(サンリオ・ピューロランド)

「みすず」事業への想いと取組み

管理者

大瀧 里美

今年度は平成20年の4月開所から10年目を迎えます。9年間の経験と大切な月日が無駄にすることなく大切に毎日をご過ごしていきたいと思っております。ご利用者の生活の質を高めより良い暮らしを実現するために工賃の向上を目指します。室内での軽作業に加え農作業・公園の草取り・イベントの販売と接客・古紙回収・洗濯作業など働き方のレパートリーを広げ「私・僕がここで必要とされている」ことが実感できるような支援を目指し、生まれ育った場所での地域生活が続けられるように、保護者会との協力体制も強化したいと思います。常に新鮮な気持ちと向上心を持ち、職員が一丸となった支援体制にまいります。

①利用者個々の特性を把握し、必要な支援を見極める。また、利用者の受け入れについて精神障害者手帳所持者の特性を学び3障害受け入れを目指す。②法人の各種委員会に参画し、みすずとしても各課題に対して問題意識をもって取り組み、改善を図る③職員行動基準を基本として行動する。何事においても全職員が共通認識し、ルールを遵守できる職場を作る。④時間の無駄・空間の無駄を削減し、利用者や職員にとって安全で安心、かつ働きやすい環境を作る。



ミニ運動会 がんばれ～

「かしわ」事業への想いと取組み

世話人リーダー 土井 友員

28年度に第一・第二かしわ寮の二施設体制となり、定員数もほぼ満床となりました。

当初の始まりのワクワクした気持ちから、それぞれ独自の生活スタイルが出来て、ほぼ落ち着いて生活されています。

当初より職員は、ご利用者自身が自分の主人公となれるように側面的なサポートを行ってきました。まだ途上の段階ですが、掃除など分業で役割をこなす事から周囲と協調し、ホーム皆で守る事を、自身の身の周りの整理・整頓、消耗品の購入等を自身で管理する事により、以前に比べて自身の生活により関心を持って生活をされている様に感じます。

今までの支援は新規に移行してきたご利用者が落ち着いて生活を送れることを重点的に行ってきました。29年度は第一・第二かしわ寮共同で余暇などの行事を、ご利用者が皆で意見を出し合い計画して実行する事により、ご利用者の意見がより反映される支援を計画しています。こういった活動がご利用者の意思決定支援と将来的な自治活動へのきっかけになれば…と思っています。職員にはこれまで以上にご利用者との話し合いの場での調整能力など、様々なスキルが必要となりますが、精一杯お手伝いしたいと思っています。

29年度の取組み

①5Sの推進 ②余暇・外出の充実 ③意思決定支援 ④健康な生活の維持支援



山形旅行 色っぽいね



パレットの会の皆さんと恒例のクリスマス会



芝生のお手入れ、いつもありがとう



玉柏会 創立記念式典

「かりん」事業への想いと取組み

支援係長 鈴木 清張

昨年28年度より就労継続支援B型事業『かりん』が、8名のご利用者を対象に開始しました。同時に生活介護事業との多機能でのグループとなり、総勢27名での作業活動を行ってきました。

これまでは、対象のご利用者8名が穴原荘に在籍していましたが、現在ではグループホーム(第一、第二かしわ寮)に移行したため、作業習得やコミュニケーションの点では問題なく事業展開が来ています。しかし、ご利用者の中には環境の変化を感じにくく、作業・工賃に対して積極的でない方がいる事も現状であり、今後の課題点の一つです。

グループホームから通勤する意識を向上させるよう、今まで以上に支援員がアプローチして行きたいと考えています。また、事業拡大としてグループホーム以外から通勤出来る環境を整え、新しいご利用者を受け入れる事で、現メンバーの意識や作業レベルアップへの相乗効果が生まれればと考えています。

今年度重点目標として以下の4点に取り組めます。

- ・ご利用者が安心して、楽しく作業が出来る環境作りを致します。
- ・ご利用者の作業意欲・工賃アップへの意欲の向上を促します。
- ・工賃アップのため、新しい作業・販売へ意欲的に着手を致します。
- ・県内就労継続支援B型事業所の平均工賃(H27度14,818円)を目指します。

「すずらん」事業への想いと取組み

管理者 遠藤 智一

すずらんは、平成27年4月1日、成人の「サービス等利用計画」と児童の「障害児支援利用計画」の作成を主たる業務とする事業所として穴原荘内に開設し、同年6月、興津駅前に事務所を移転し、現在に至っています。

現在、すずらんでは、入所施設やGH等をご利用の方、百数十名、地域で暮らしている方約三百名にご利用いただいております。静岡市内には、まだ、計画相談のサービスを受けられていない方が大勢いらっしゃる事ですので、計画の質を保ちながら、少しでも多くの方の計画に携われる様にしていきたいと思っています。

一方で、障害者総合支援法の3年ごとの見直しの度に、相談支援事業所及び相談支援専門員に求められる業務の量が増え、質の高さも求められてきております。静岡市内には、今年の夏、地域生活支援の拠点となる施設が開設され、市内の福祉サービス事業所は、それぞれが地域内での役割を担い、強力なネットワークで結ばれていく事になります。その際には、相談支援事業所のネットワークが活用され、相談支援専門員の役割も大きくなります。まだまだ微力ですが、皆様のお役に立てる様、職員一同、研鑽を重ねてまいります。



虐待防止講演会風景



強度行動障害コンサル
ティング風景

各委員会 活動方針

1 虐待防止委員会

委員長 濱崎 宣雄

今年度は、虐待防止のため「職員への啓発活動」をさらに進めるとともに、支援の方針を定めた「虐待防止ガイドライン」の作成を進めてまいります。

2 リスクマネジメント委員会

委員長 牧田 孝行

「ご利用者が安心、安全に暮らしていただく施設作り」を目標にリスク委員会としては「どこにリスクが潜んでいるのか」の視点で、常時アセスメントすることに努めています。

3 苦情解決委員会

委員長 齋藤 雅志

苦情申し立て0件を目指して、まずは保護者様・ご利用者との良好な関係を作れるよう積極的にお話をしていきます。また、各階の情報が共有し合えるように機会を作ります。

4 安全衛生委員会

委員長 小長谷 英春

平成29年度の安全衛生委員会は、「職場環境の改善」を目標に、大規模改修工事や施設内外のハザードマップを作成し、ご利用者様や職員が安全に安心して働ける職場づくりをしていきます。

5 給食・感染症委員会

委員長 山本 和子

食事の安全性や楽しく食べる事の重要性を理解することを目指し、利用者様の食生活がより良いものになるように努めます。また、日々研鑽を積み、感染症の発症が無いよう精進してまいります。

6 防災・防犯委員会

委員長 吉川 昌一

防災マニュアルを見直すと共に、緊急物資・備蓄品等を明確化してまいります。また、不審者対応マニュアルはもとより、徹底した施設管理を行い、未然防止に努めてまいります。

法人より報告



講師：水野敦之先生



静岡市との共催 虐待防止講演会風景

『虐待防止への取組み』と29年度の予定

すずらん管理者 遠藤 智一

平成28年度、宍原荘では、施設で生活されているご利用者への支援を見直す為、研修を企画する事になりました。全体としては、ご利用者の再アセスメントを進め、ご本人への理解を深める事を目指す事に致しましたが、特に発達障害のあるご利用者には、より専門性の高い支援が不可欠と考え、「リーダーの育成」と「支援力の底上げ」を同時進行する為、外部のコンサルタントをお招きする事に致しました。その際、宍原荘の現状を理解し、コンサルティングを引き受けて下さったのが、広島県の児童発達支援センターに勤務されている、水野敦之先生でした。28年6月に初めて宍原荘に来られた時、先生は「入所施設にしては、頑張っている。でも、究極のマナーリズムがなせる技だね。」と仰いました。それまで、一日の日課を快適に過ごしてもらう事を常に意識し、熱心に支援してきた職員には厳しい言葉でしたが、8月、10月とコンサルティングを重ねる度に、ご利用者個々の能力や気持ちを丁寧に何度もアセスメントする事でしっかりと理解し、施設や職員の都合よりも可能な限りご利用者本位の支援をする事がいかに大切であるかを再認識し、教材研究やケース検討が活発に行われる様になってきました。この1年間の取り組みを活かし29年度もより内容の濃い研修を行い、職員のスキルアップを図ってまいります。

『介護初任者研修』

中央荘 支援課長

齋藤 雅志

職員研修報告として、自分が平成28年度を考えた時、「介護初任者研修」が頭に浮かんできました。この研修は、株式会社ベルキャリアールで開催している研修で、以前のヘルパー2級に相当する資格です。介護については、学生時代に実習や授業など経験があり、知ったつもりでおりましたが、歴史や医学的な部分、実技や目的、実際に介護するだけでなく介護される側の体験など色々な学習の機会をいただきました。講師の先生が丁寧に教えて下さり、体験もさせていただいたことで、改めて『最新』を学ぶことの意義と関わる人の技術力によって、介護を受ける側の感覚もすぐ変わるのだと思い知らされました。特に、講師の職場の女性にサッと体位変換や移乗をしていただいた時に『目から鱗』とはこういうものなんだと受講者の方と話し、こんな介護を受けたいと感じさせてくれました。

特に、丁寧さと手際良さを持ち合わせた介護でした。これは、介護に限らず、知的の部門においても同じことが言えます。この知識を中央荘や他の場面でも活かせる様に、関わっていきます。

『県知協 生産活動・就労支援部会研究集会』

みすず サービス管理責任者 鈴木 利往

今回、当番施設として「就労継続支援B型事業所役割と工賃向上計画」と題した行政説明のコマの準備担当をする中で、部会内各事業所(直接処遇職員)からの日頃の疑問や知りたいことを予めまとめさせて頂き、行政への質問(11問)としての回答をお願いしました。当日は現在の情勢説明の後、所要時間の半分(30分)を用いて回答が行われた中、質問内容に対して全てが直球的な回答ではなく(たとえば、就労B型の月平均工賃額が下回らない3千円根拠がわからないことや工賃分配に関するモデルはない事等)、質問に対して参加者が研修を受ける満足度に疑問が残ったと思われるものの、工賃向上を目標にする向上計画の指針や事業所内配置基準の種明かし(予算をつけるための積み上げ式配置が優先され支援の必要性からの配置ではない考え方)、工賃分配に当たっての誰もが納得のいく評価方法を各事業所で考える必要性の説明等、日頃の行政説明にはない見え隠れ的な内容もあり、予めの投げかけ質問での行政説明として良い機会に参加・当番内の役割参加をしたと思いました。

★新職員のお知らせ★ ～新しい仲間～

- H28. 4月 高瀬 賞 (中央荘)
- 6月 川津 明子 (かしわ寮)
- 7月 望月 明美 (中央荘)
- 10月 天野 富士夫 (みすず)
- 11月 長谷川 未紗 (中央荘)
- H29. 2月 高橋 立子 (中央荘)
- 4月 福留 佑季 (中央荘)
- 望月 沙織 (中央荘)
- 神保 卓代 (すずらん)
- 田中 千夏子 (みすず)

28年度の活動アルバム



リニア鉄道館へ外出



2月お誕生会



ハンドマッサージ
気持ちいいね



ドライブ大好き

(余暇活動・本栖湖へ)



門松の製作



みすずカラオケ大会



ソフトボール優勝♪

(中部交流スポーツ大会)



巻けたかな?

(調理実習・手巻き寿司)

平成29年度 年間行事予定

	法 人	中央・すずらん	みすず	かしわ寮
4月		第1回 面会日	お花見 日常生活訓練	第1回 面会日 お花見・青年学級 奉仕活動
5月	監事監査 5月期 理事会	清水区スポーツフェスティバル		GW 一時帰宅 バーベキュー大会 奉仕作業
6月	6月期 定時評議員会 理事会	第2回 面会日	一泊旅行・バザー	第2回 面会日
		中部地区交流スポーツ大会		
7月			地域資源活用支援	ご利用者外出 奉仕活動
		玉 柏 会 納 涼 大 会		
8月		小・中学生福祉体験 夏季一時帰宅 中央盆祭り	清水みなと祭り	青年学級 奉仕活動 中央盆祭り
9月		第3回 面会日 福祉のまつり グラウンドゴルフ大会	保護者懇談会 防災訓練	第3回 面会日 青年学級(福祉のまつり) 奉仕活動
10月		家族旅行 中央村まつり	ミニ運動会 百花園秋祭り 福祉楽市	ご利用者旅行 中央村まつり
11月	11月期 理事会・評議員会	第4回 面会日 文化祭 小島まつり	みすず福祉まつり 調理体験	第4回 面会日 奉仕活動 小島まつり
12月	創立記念式典	創立記念式典 クリスマスプレゼント 冬季一時帰宅	愛護ギャラリー出展	創立記念式典 冬季一時帰宅
1月		冬季一時帰宅	創立記念式典 ボランティア交流会	冬季一時帰宅 新春そば打ち 奉仕作業
2月		第5回 面会日 節分 市民交流まつり		第5回 面会日
3月	3月期 理事会・評議員会		岡地区交流館まつり	奉仕作業